

さ ざ ん か

第74号、2007年12月

平成19年もういよいよ終りが近づいてきました。平成という年号もついに来年は成人式を迎えます。はやいですね。平成生まれの若者たちが、社会に進出しはじめています。ついつい日本人であると元号での感覚の方が先についてきます。ちなみに平成元年は1989年で、1月7日までは昭和64年ということになります。この年の末には日経平均株価が38900円と史上最高値を記録しました。翌年からいわゆる「失われた10年」と称されるバブルの大崩壊が始まります。このあと、就職氷河期を向かえ、就職できなかった若者が沢山出ました。来年はどんな年になるのでしょうか。一部（大企業）ではバブル以来の好景気だとも言われていますが、生活者としてそういう実感がないのが大多数の国民の感覚ではないでしょうか。国、財閥のみが威勢が良くて多くの国民が苦しんだ過去もありました。医療費削減にかんする医療関連の番組のインタビューに答えていたお年よりの言葉が印象的でした。偉い評論家先生の言葉よりも本質をついているなあと感心しました。

「国もこまるだろうが、あたしも困る」

県立北薩病院の理念

慈愛・協調・前進

俳句

西屋敷 喜美子

完璧な 日々は無かりし 冬に入る

虫めがね あかぎれの指 見つめあう

紅葉舞ふ 夫と二人の 曾木の滝

病院からのお知らせ

- * インフルエンザの予防注射の季節になりました。12月28日まで施行しています。
ご希望の方は、かかりつけの方も、そのご家族の方もいつでもお申し出ください。
- * 年末年始：12月29日から1月3日までは外来は休診です。もちろん急患のかたはこれに限りませんので、いつでもお問い合わせ下さい。この間のお薬は必要な分だけの処方となり、長期投与はできませんのでご了承ください。
- * 外来の採血開始時間は午前8時開始になっております。朝食抜きの採血があるときは早めに来院して採血をすませ、診察時間が来るまでゆっくりと朝食を取っていただければと思います。
- * 骨密度、測ってみられましたか？ご希望の方はいつでもできますので、各科窓口でおたずねください。骨粗しょう症の進行を予防できることがあります。
骨密度を上げるお薬を服用している方は、骨密度が上昇したかどうか確認してみたいかがでしょうか。
- * MRIで脳の検査をしてみませんか？目的は脳卒中や認知症（ボケ）の予防につながることもあるからです。また、脳動脈瘤の発見にも威力を発揮します。脳ドック以外でも脳神経外科または神経内科外来にてご相談ください。
- * MRIは腰痛の検査にも威力を発揮します（脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど）。あるいは肩こりや手のしびれの原因を探すのにも有用です。精密検査希望の方は神経内科外来にてご相談下さい。
- * マルチスライスCTで、心臓冠動脈造影もできます。心臓カテーテル検査の代わりにもなることもあります。その他全身の血管撮影に威力を発揮します。人は血管と共に老いる、といいます。MR血管撮影とあわせて利用できます。ご相談は各科の主治医にどうぞ。
- * 一階売店近くのロビーに「創作ひばり会」の盆栽が展示してあります。日本人の粋を代表する芸術ですのでゆっくり「盆栽ワールド」をご堪能下さい。
- * 新式のマンモグラフィーが導入されております。乳がん検査に威力を発揮いたします。乳がんが気になる方は外科外来へお申し出ください。
- * 北薩病院のホームページにもこの「さざんか」は掲載しております。ホームページを見ていただくことで、遠方在住の家族の方に、自分の親や兄弟、姉妹がかかっている病院のことを少しでも知っていただければよいなと思います。

院長挨拶：今年を振り返って

高橋 浩一

今年は例年になく暖かい秋だったそうです。その分、最近の寒さが身にしみますが、冬

は寒く、夏は暑いという当たり前のことが起こっている間はむしろ安心します。当たり前ではなかったことが当たり前になってしまっていることがしばしば見受けられますが、これも時の流れ（グローバル化、市場経済原理主義）で済ませないと仕方ないのでしょうか。時に流されるのか、流れに抵抗するのか。幕末から明治維新にかけては時代遅れの融通のきかない武士は凋落し、時流にのった下級武士が成功しました。昭和の大戦争では時流に乗った軍人さん達も流された国民も悲惨な結果を招いてしまいました。時代を見極める難しさを痛感します。

さて、今年も北薩病院をご利用いただきありがとうございました。これじゃあ、まるでモノを売る商売人のようですが、病院ではモノではなく技術と気持ちを売っていると考えればこの言葉も案外ふさわしいのかもしれないかもしれません。現代の医は仁術プラス算術にならざるを得ません。ただ、当院では算術精神丸出しとしか私には思えない呼称「患者様」とは呼ばず「患者さん」と呼ぶことにしています。

でも、現実には残念なことに、仁術だけでは病院は倒産してしまうのが今の医療の仕組みなのです。

この地でみなさまとともに、病気と戦ったり、付き合ったり、時にはくじけたりしながらも県立病院として存続していくためには相変わらず厳しい環境ではありますが、「本当の」当たり前の医療を提供できるように来年も頑張っていきたいと思います。

「偽の」当たり前とは、人口が少ない田舎には小児科や脳外科はなくても当たり前だ。人口が多いところに集約するのが当たり前だ。病院も経営が大事だから不採算部門から手を引くのは当たり前だ。赤字を出してまで田舎に公立病院はいらないから、民営化するのが当たり前だ。医療にはお金がかかるのだから、医療費が高いのは当たり前だ、などなのです。

世の中ではニセモノが氾濫した一年でした。ミンチの偽装、食品の賞味期限のごまかし、人材派遣会社の偽装請負、防衛省の水増し請求問題、論文のねつ造事件などなど。しかし、特別今年にニセモノが目立ったにしても、たまたま気候条件などで収穫が多かったなどという自然の作物とは違いますから、今年だけが特別と言うことではないと思います。今年になってバレタというだけで、そのごまかしの体質は何年も前から存在して居たものばかりです。その中で、本物の良い医療を追求することはじつはとても困難なことであります。

もともと科学としてのみでは割り切れない医療の世界では、不確実性を避けることはできません。病院へ行けば行った人はみんな病気が治るわけでもないし、手術はすべての手術が上手くいくわけでもありません。そもそもどういう治療が絶対に良いのかということが分かっている病気すらまれなのです。同じ病気、同じ年齢の人が同じクスリを服用した

とき、一方は完治し、他方は副作用で死亡する、という極端なことすら起こりえるし、現実には起こっているものと推測されます。人間存在のあいまいさ、生命の不可思議さに対して、理論のみでは解決できないことがやまのようにあります。その中で北薩病院ができる良い医療とは必ずしも日本最先端の医療技術を提供することを目指すことではなく、十分なインフォームドコンセントに基づいた標準的医療を確実に提供すると共に、「人間は誤るものである」という前提に立って、誤りがあればそれを隠蔽しないという姿勢にあるものと考えます。誤りの中から進歩も生まれます。

人は精神的な動物です。肉体的側面の治療のみでなく、精神面からの治療の重要性を考えると、日常患者さんと接する職員の態度や言葉が大きく患者さんの療養環境を左右することは明白です。時には病状にすら影響を与えるでしょう。患者さんの闘病意欲や希望を削ぐような職員が存在していれば、それは本物の良質の病院とはいえません。

いずれにしろ患者さんが来ない病院はその存在価値がないといわざるを得ません。来年も沢山の方が北薩病院をご利用いただけるように、ご期待に沿えるだけの力（病気を探したり、病気を治す技術力、時には、人生最後の場所にふさわしい環境作り、健康増進のためのお手伝い、共に病気と闘える環境整備、日々の相談など）をつけるよう努力してお待ちしたいと思います。

来年が皆様にとって良いお年でありますように職員一同と共に祈っております。

勇氣

時吉政江

10月25日退院。病院正面玄関の自動ドアが開き、金木犀が満開となる。晴れの日がつづいていた風で香り高く、伊佐平野の風が私達のために気づかって楽しませてくれました。みんなステキな香りを楽しみました。北薩病院に昭和61年5月2日に植えられた金木犀も大きくなって、時とともに平成20年となりやがて伊佐市となる日が近くなりました。

みんなテレビを見てた。秋篠宮夫婦がこうのとりを二人で願いをこめて大空へ飛ばされましたね。短歌「こうのとりの環境保全の願いこめ今巣立ちたり大空の下」

天皇家に男の子のお孫さんが誕生。みんなテレビを見てた。かわいかったですね。秋篠宮さまが悠仁宮さまの小さな手をぽんぽんとたたかれて、悠仁宮のこぼれるほどの笑みはまだ二ヶ月くらいでした。家族を思っているのか、「ヒゲ」がおかしかったのか。短歌「いとけなき嬰兒は父の顔を見てただ笑むばかりの花のごとく」

11月5日土砂ぶりの雨降りになり金木犀が散って出水にはつるたちがいっぱい到来してきました。短歌「北風に吹かれて歩む鶴一羽母にあらずやわれに近づく」

鳥たちの本当の素晴らしさはほんとうの飛行機のパイロットさんたちが驚くとか。一緒

にそばでとんでいるのをパイロットさんたちがよく見るそうです。日本からのシベリヤへの渡りの本能を知っている鳥たち、つるやハクチョウや雲の上をとんでいく渡り鳥の本能素晴らしいですね。

婆ちゃんが小さな勇気ある鳥の話を書いてみましょう。アメリカムシクイの小鳥。すずめみたいな鳥。渡りの本能で大西洋の上空を高く飛び、南アメリカに向かう途中でまずアフリカ方向へ進む およそ6000メートルの高空でこの鳥は一定の季節風をとらえ、それにしたがって南アメリカ方向に向きを変える。羽でくるんだ勇気とも言うべき体重がわずかに20数グラムのこの小鳥が、本能に導かれ数日間をかけて3800キロもの旅をする。私たちは驚きと賞賛の気持ちに満たされる 私たち人間は小さなほほえみ、小さなたんぽぽやスミレの花に手で触れた感じ。小さな親切な言葉。小さな羽根をふるわせる蝉の歌声。ウグイスの歌声などに囲まれていることを人として感謝しましょう。軽いうちに北薩病院にいきましょう。重病にならないために優秀な県の職員さんがいらっしゃるので早めにおいで下さい。

人生八十年寝てみて七日 宮園辰夫

或るラジオ番組が午前10時半からやっているという。主として年寄りと話したり、肩を叩いたり、握手をしたりする。何処に行ってもジジイは早く亡くなっているから、どうしてもババアが目立つようになる。ジジイはふだんはあまりババアに接しないから、嬉しくてしょうがない。あまり知らないババアでも握手が出来たら嬉しくてしょうがない。敬老の日しか主役になれないジジイもババアも年寄りの主役はスターだからだ。そのスターにしてやるのも、ボケない為の一つの予防策かも知れない。おいしい和食を食べさせて、温泉に連れて行くってことばかりが、大事とも言えない。

周囲が年寄りを引きたてるのが、年寄りを積極的に働かそうとすることだ。そうすれば、体を動かすからボケない。「人生八十年、寝てみて七年」ということにもなる。ボケない為にも体が丈夫なら、人の為や町のためにやく立つように働く。趣味を持ってストレスを残さない。大きな声で笑う。うちの中に居ないで、どンドン外に出る。友達や顔見知りを見れば、沢山も身の回りの世話をしてもらえる程度のお金を持つ。あまり貯めて死んでしまえば、子供達の為にもならない、といって全部使うわけじゃないから、少し残して使った方がいいと思う。

寝てみて七日というのは、そうやって働いているある日、バタッと倒れることである。寝たきりになって、ボケたりしないで、七日間ばかり床について死ぬ。遺言とか親戚や身内への連絡などは七日あれば十分。周囲にそれ程迷惑かけずに死ねれば理想というもの。元気で楽しくいろんなことを楽しんで八十年生きれば、思い残すことはない。「見るものす

べて見つくして」こんな老い方ができれば言うことはない。欲がつっぱりすぎると無残と言うもの。久しぶりのラジオも面白く聞けた。

短歌

荒崎に今年も来し鶴一万以上 屋あたたかき広田に群がる

切捨てごめんの故に切られし七人塚 古き墓石に紅葉散り

さつま狂句

ダイエットち今^{いまゆ}言うたて卑^{いや}し口^くち

退職^{やめ}たや彼女^{すつ}な所^とけ行^ふち財布^ぞは空^{から}

或る阿呆の一朝（ルーチン パートⅡ） カラーマン（とその女）

朝、6時にセットしておいた携帯電話のアラームがなる。いまどき、目覚まし時計を買う必要はないのだ。携帯電話が目覚まし時計になったり、カメラになったり、計算機になったり、テレビになったり、財布代わりにになったり、手紙になったりする時代なのだ。（本当にうそみたいね。逆に、電話をなくしたら便利さすべて失うって感じね。もうあたしは携帯電話なしの生活は考えられないわ。）アラームは、時にバイブ、時に通常の呼び出し音。最近流行の呼び出し音をこのみの音楽にするとか、人の声にするとかのさもしい細工はしない。（というか、出来ないんでしょう。ごまかしたらだめよ）

そのまま「ふふふ、そうか、もう6時か。まあ、いいだろう。あと一眠りしよう。」とほくそ笑みながらまた目を瞑る。二度寝のときの夢は意外と現実感が混じっていて楽しいことが多い。さあ、もう一眠りしよう。6時半に目覚まし時計をセットしてあるからそのときに本気で起きればいいのだ。だが、念のために聴覚からの刺激を用意する（その辺が何とも小心もののあなたらしいわねえ！）ために、テレビをつける。画面を見るわけではなく、音声のみを聞くのだ。寝ぼけ眼でテレビのリモコンを探すのに時間がかかったりすることが多い。同じことばかり繰り返すから、夜寝る前には、出来るだけ同じ位置（枕元とか）にリモコンは置いておこう！と朝はそう思うのだが、夜、寝るときにはそのことを忘れているのもまたルーチンである。

やれやれ。目は瞑ったままテレビの音声のみを聞く。NHKテレビと言うかNHKに拘わらず、

マスコミのワンパターンもまたルーチンだ。天気予報のお姉さんが何時何分というほぼ決まった時間に出てくるが、しゃべる内容はほぼ決まりきっている。NHKのお姉さんは民放と違っていわゆる可愛い子ちゃんでは決してない。(そ、それは余りにも失礼じゃないかしら。そんなことはないと思うわ。NHKだって可愛い子はいるわよ。いや、いるかもしれないわよ。いや多分いるはずだわ。い、いや、ま、いなくてもいいのよ。そんなこと どうでもいいことだし……)。

それにしても NHK はともかく (だから、NHK にだって居るんだって！1人くらいは……) 民間放送のテレビに出る若いアナウンサーや天気予報の子たちは何できれいどころばかりなのだろうか。就職試験の基準に美形ってのもあるのかなあ。(でも、あの子達って学歴もすごいらしいわよ。最近の傾向の一つらしいけど、いわゆる頭もいい、顔もいい、家もいい、といういいもの独り占めしてるような子も増えているらしいわ。あー、なんか腹が立ってきたわ!) まあ、頭と顔はいいかもしれないけど、性格が悪いとか、なんかそこそこ人間は欠点があるのが普通だから、見た目とか学歴に騙されないようにしたほうがいいと思うよ。(そういうあなたは、可愛い子に接するときの態度は明らかに媚びていて見苦しいけどね。ふん。本人はそのつもりはないのでしょうか。まったく、スケベ心が丸見えだわ！お気をつけなさいな)

は、話しを進めよう。そして6時半に2回目のアラーム(目覚まし時計)がなったあと、ようやく布団から抜け出す。そのまま布団で時間を過ごすとうっかり寝てしまったりすることがあるから(パラレルワールドへご招待ってやつね)、ここは気力を振り絞って気合いを入れて起き上がり、椅子に座る。聴覚の刺激源だったテレビが本来の視覚の刺激発信器械に戻る。殆ど無意識にテレビの画面を見る。画面上は殆ど毎日同じ出演者だ。

ああ、なんかなあ。いやだなあ、仕事行くの。このままもう一回布団に入って眠れたら何て幸せだろうか。何でこうして毎日、毎日、仕事があるんだろう。どうでもいいことじゃないか。たかが、仕事くらい。何のために俺は生きてるんだろうか。毎日、こんなことばかり考えて、そして死んでいくなんで、何かが違うぞ、間違ってるぞ。いやだなあ。でも、このまま仕事をサボってしまえば、それなりにまたいやだしなあ。布団の中で、目が覚めたら10時だった、なんてことになって落ち着いていられるほどの豪胆な神経はないのなら。ああ、結局、どうしてもだめなんだ。

行くも空虚、止まるも空虚。仕事をしても満たされない、仕事をサボるともっと満たされない。いったい、どこに実態があるのだろうか。どこに俺は向かっているのだろうか。などと心のなかで叫んでいるあいだにも、時間は容赦なく経過する。えー、馬鹿やろう。いい加減にしろよ。と、怒鳴っても事実は変わらないなあ。あーあ。

いややなあ。仕事に行くのは。このまま寝ていたいなあ。このまま寝れたら何てしあわせだろうと、思考がくりかえすのもほぼルーチン。

だいたい 7 時頃になって、ようやく決心して動き始めたら、かなり無駄な時間を費やしたあとだけに（約 1 時間近くそうやって毎朝アホなことかंगाえているのね。だったら、はじめから目覚ましを 7 時にセットすればいいのに。おばかさんねえ）時間がない分、行動が早い。さっと顔を洗ったりトイレに行ったりしてあとはだいたいテキパキとする。（だから、なんかいつもヒゲのそり残しをしたむさ苦しい顔でいるわけね。もっと早く行動して、ヒゲくらいちゃんとすればいいのに！）。ふん、ヒゲのそり残しが男の魅力になったりするって知らんのか。野生の魅力だぞ。（ああ、そうだね。そうなんだわ。そういう発想が出来る人なんだわ、あなたって。やっぱりあなたは見事な阿呆だわ。）

そのあとようやく出発までこぎつける。暖房は消したか、テレビは消したか、電気は消したか、ガスの元栓は消したか、とルーチンの確認をする。意識してこれらを確認した日に限って、携帯電話を忘れてりする。次に、携帯電話に気がむいていれば、ガスの元栓とか、種火をつけたままだったりする。家の中の電気類をチェックし携帯電話もチェックしたのに、玄関の外灯を消し忘れてりする。こういう物忘れもルーチン化した。（もしかして、それって危ないのでは。阿呆になってしまったの？）

同じように止めておいたアコードを同じ様な手順でバックさせて駐車場から出す。同じ道を同じ様に走る。同じ景色。気温が季節で変わるくらい。同じ距離。同じ曲がり角、同じ直線道路。ついたら同じ駐車場。ルーチン。ルーチン。同じ日々。ルーチン。同じ人々。ルーチン。ルーチン。いつまで繰り返せば終わるのだ、そのルーチンは！

人は死ぬと分かっているけど何故生きるのだろうか。別れが来るのに何故出会うのか。（あーあー。阿呆がドツポにはまっちゃったわ。人は死ぬと分かっているからこそ、一生懸命生きるのよ。別れがあるから、出逢いの価値があるのだわ。また目が覚めたらゆっくりと考えることね。ルーチンから逃れるには自らのアタマで考えるという行為が必要だわ。）

編集後記

中年から初老期にかけてうつ状態になる人が増えているそうです。年金問題、医療問題など心配でいっぱいです。政治のせいばかりではないでしょうが、大部分は政治のせいだと思いますよね。今年もご愛読ありがとうございました。来年もよろしく願いいたします。（KT）
